

授業実践を支援する学習材の条件とは何かを考える

—連合大学院プロジェクト(I)の成果と課題—



日 時 2011年2月6日(日) 13時30分～17時終了予定
 会 場 連合大学院・大阪サテライト(キャンパス・イノベーションセンター)
 〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53 (JR大阪環状線福島駅徒歩12分)

趣 旨 プロジェクト(I)では、これまでの教科書と授業の関係に問題点を見だし、教師の授業実践を支援し、子どもの学びに寄与できる「学習材」の開発を行ってきた。本シンポジウムでは、3カ年におよぶプロジェクトの総括を行う。開発した「学習材」の内実を報告するとともに、実際に「学習材」を用いて授業実践した教員を招き、その有効性とこれからの教科書の姿・あり方について議論したい。

第1部 成果報告

司会・進行 田中 伸(大阪大谷大学)

- 13:30-13:40 あいさつ
- 13:40-13:55 試行チーム 中本 和彦(四天王寺大学)
- 13:55-14:10 小学校チーム 坂井 誠亮(北海道教育大学)
- 14:10-14:25 地理チーム 志村 喬(上越教育大学)
- 14:25-14:40 歴史チーム 梅津 正美(鳴門教育大学)
- 14:40-14:55 公民チーム 疋田 晴敬(愛知県立中村高等学校)
- 14:55-15:10 休憩

第2部 シンポジウム

司会・進行 西村 公孝(鳴門教育大学)

- 15:10-15:15 趣旨説明
- 15:15-15:30 報告1 草原 和博(広島大学)
- 15:30-15:45 報告2 横井 香織(静岡市立観山中学校)
- 15:45-16:00 報告3 迫 有香(広島県廿日市市立大野中学校)
- 16:00-16:15 報告4 青本 眞二(広島県立賀茂高等学校)
- 16:15-16:30 報告5 峯 明秀(大阪教育大学)
- 16:30-16:45 指定討論 岩田 一彦(兵庫教育大学)
- 16:45-16:55 あいさつ